

# 重要性

5年の阪神大震災被災した。

く、お年寄りを家た。20数年間の変

ほ、南海トラフ巨れがあるといい、え、避難対策につ



## 避難



## 巡



ら「(私の)声を聞いて逃げた」と言われました。そういう人が他にも何人かいました。呼び掛けが実際の避難行動に結び付き、良かったと思います。

## 災害時の医療機能継続

# 各病院 BCP 策定を

2018年に日本国内で発生した災害は、医療機関が業務を継続する上で新たな課題を提起した。

6月の大阪北部地震は、朝の通勤時間帯に発生した。交通機関がまひしたため職員が出勤できず、病院の機能が制限された。9月の北海道地震では道

## 探る

東北大災害科学国際研究所助教

佐々木宏之さん



佐々木 ひろゆき 東北大大学院医学系研究科修了。東北労災病院外科、東北大病院胃腸外科現総合外科を経て12年から現職。日本DMAT(災害派遣医療チーム)隊員統括、宮城県災害医療コーディネーター。専門は災害医学、社会医学、消化器外科学。仙台市出身。45歳。

内全域が停電した。バッテリーが備わっている人工呼吸器や人工透析機器などが急に停止することはなかったが、電力に依存する多くの医療機器の継続使用が危ぶまれた。

7月の西日本豪雨では、岡山県倉敷市の病院で1階にあった自家発電装置が水没し、患者への対応ができなかった。現代の医療機関は専門性や機能が高度化した結果、業務が細分化され、インフラに高度に依存することになった。

人的資源では、医師、看護師、事務職、検査技師、放射線技師、薬剤師、栄養

士などの専門職に加え、BCPの策定と訓練の実施が義務化された。一方、国内の病院の約9割を占める非災害拠点病院では、現時点でBCPの策定は義務化されていない。災害時には一つの医療機関(点)が地域の他の医療機関や関係団体と連携しながら、地域医療体制(面)の一角として活動を継続する必要がある。

東日本大震災後は、医療機関でも事業継続計画(BCP)を策定し、災害時に業務が継続できるよう準備しなければならぬ。非災害拠点病院で必要なら、BCPを策定し、災害時に業務が継続できるように準備しなければならない。

非災害拠点病院で必要なBCPとは何か、BCPを維持・管理するためにはどのような訓練、見直しが必要なのか、現在研究を進めている。

災害時、地域医療の核となる災害拠点病院は、BCP